

広報あらお 67 年間

～ Public Relations 67years Trajectory ～

の軌跡

広報あらお 1500 号到達記念特集

～番外編～

本編に引き続き、過去の広報掲載記事をお届けします。
本編は 10 ページから始まります。ぜひご覧ください。



1991 (平成 3 年)

10 月 15 日号 (981 号)

台風 19 号の被害相談窓口設置の記事です。家屋の半壊 4 件、道路の全面通行止め 4 カ所、断水 8,200 世帯、荒尾・大牟田管内の停電 88,700 世帯など甚大な被害がありました。



1993 (平成 5 年)

7 月 1 日号 (1,020 号)

宮崎兄弟の生家施設完成に伴い、記念式典・歴史対談・国際文化シンポジウムなどが開催され、その模様を特集しています。同年の 10 月 15 日号では、宮崎兄弟をテーマにしたドラマ制作中の記事が。俳優の仲村トオルさん、豊川悦司さんなどが出演されていました。



1992 (平成 4 年)

12 月 15 日号 (1,008 号)

市制施行 50 周年であった平成 4 年には、32 もの記念行事が行われ、この号ではエンディングセレモニーを特集。荒尾市のイメージソング「風が吹かせる希望の街」が歌手の芹洋子さんにより初披露されています。また、50 年後の人々へのメッセージ、この年に生まれた赤ちゃんの写真などを託したタイムカプセルを埋設しました。どんなメッセージが書かれているか、開封する日が楽しみです。



1994 (平成 6 年)

11 月 15 日号 (1,052 号)

第 1 回あらお荒災祭が表紙に。現在では荒尾の夏の風物詩となっているあらお荒災祭ですが、11 月開催の秋祭りとしてその歴史をスタートさせました。前夜祭と本祭の 2 日間合わせて約 7 万人が来場。アジア姫コンテスト、九州太鼓フェスティバルなど多くのイベントを楽しみました。表紙写真のパレードや総踊りなどは当時から祭りのメインイベントとして盛り上がっていたようです。



1997 (平成 9 年)

5 月 15 日号 (1,108 号)

4 月にオープンしたあらおシティモールの記事です。市の特定商業集積事業として整備されました。量販店、ホームセンター、百貨店の核店舗の他、専門店 70 店が入店し、当時は九州で最大級の規模を誇りました。開店してからの 3 日間で 18 万人が訪れ、オープン当日に来場した学生さんも「にぎやかな街になってほしい」と話しています。これからも市民の憩いの場としての活躍を期待したいですね。

